

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 会員と森林文化アカデミー学生とのマッチング実施中！

昨今、企業側の人手不足が深刻な状況を受け、コンソーシアム会員と森林文化アカデミー学生とのマッチングを昨年度から実施しています。今年度は、エンジニア科（高卒者が入学、技術者を養成）を対象とした「企業説明会」と、クリエイター科（大卒者や社会人経験者が入学、林業・木造建築等の専門家を養成）を対象とした「キャリアカフェ」の2種類を実施しています。

企業説明会はアカデミーと共催で4月と6月に計3回開催し、計24社の会員企業が参加しました。説明会をきっかけにインターシップに繋がるなどマッチングの成果があがっています。

キャリアカフェは、会員企業の社長を招いて企業活動や事業の課題、社長の人生観や夢などを学生と対面で話し合うスタイルで実施しています。これまで3回開催し、各回とも学生と打ち解けた雰囲気の中、予定の時間を超えるほど熱心に意見交換がなされ、お互いの人となりを知る絶好の機会となりました。

今後もキャリアカフェを実施しますので、参加の希望がありましたら事務局までご連絡ください。



● 森林獣害対策担い手育成研修会を開始しました

近年、ニホンジカの生息数が増加し生息区域も拡大していることから、苗木を植栽しても食べられてしまう被害が後を絶ちません。一方、これまで捕獲を担ってきた狩猟者の減少と高齢化が進んでいることから、ニホンジカを捕獲する担い手の育成が喫緊の課題となっています。

そこで、保育の合理化WGでは、林業従事者自らが捕獲に必要な知識と技術を習得することを目的に全3回の研修会を県内で初めて開催しました。

10月5日に開催した第1回目の研修では、森林文化アカデミーの伊佐治教授から、森林獣害対策の現状、関係法令等についての講義を受けました。また、猟具を学ぶため、色々な罠の種類と取り扱い方法について、実物を使って具体的な説明を受けました。

研修には、林業経営者や森林組合職員、行政職員の計6名が参加し、今回の研修を切っ掛けに今年度中に狩猟免許取得を目指す方も見えます。

今後年内に2回研修会を開催して、ICT技術を活用した囲いわたの設置や、くくり罠捕獲の実習のほか、現役狩猟者との交流なども行う予定です。



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。